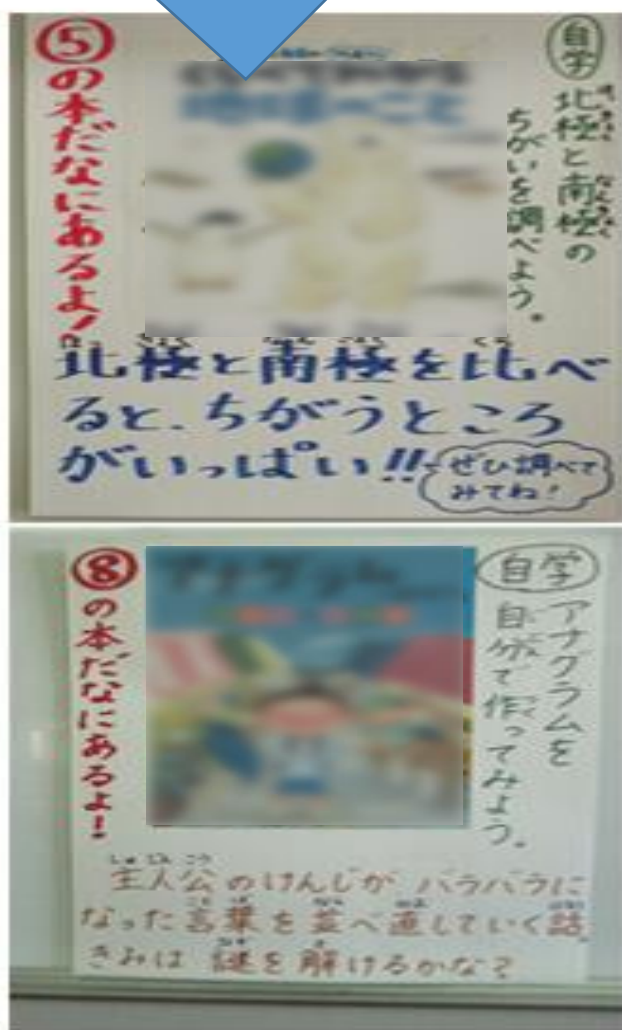
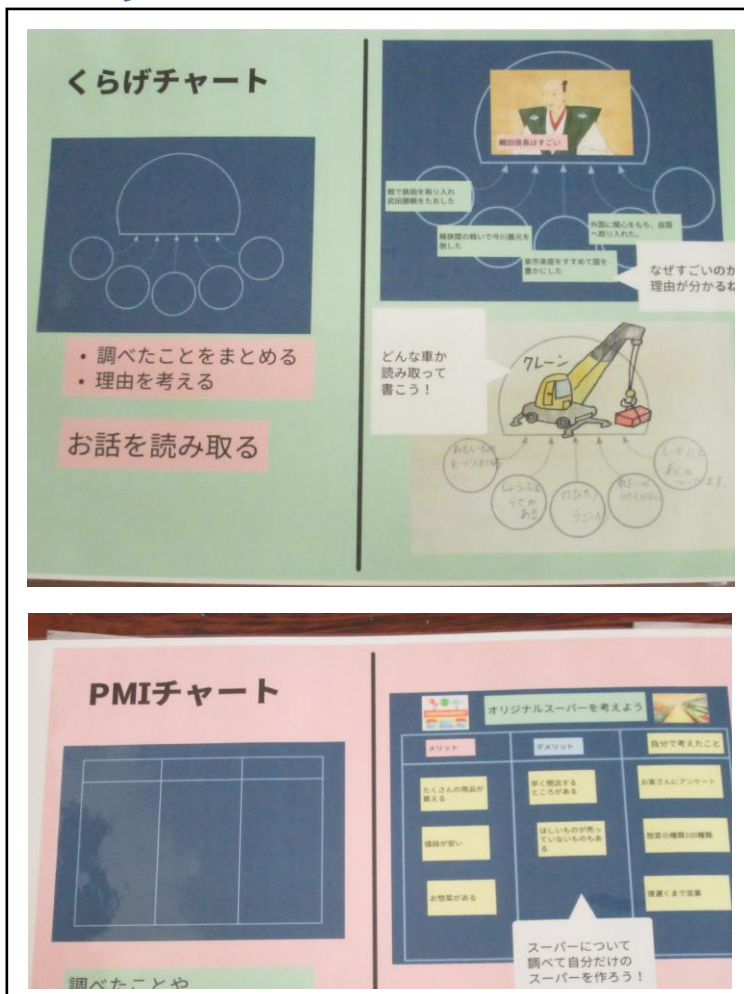


壁には先生たちが書いた「自主学習のすすめ」を掲示しています。自主学習に使えるおすすめ本を、表紙写真と分類番号を示して掲示しています。分類番号を書くことで、学校図書館に行き自分で探せるようになり、そこに置いてある他の本に興味を持つ児童も現れてきています。



視聴覚室が、「調べ、書く」ための
第2図書館になりました①

「使ってみよう思考ツール」としてロイロノートに入っているシンキングツールの使い方を掲示しています。調べたことをまとめてアイデアを出すときや、わかったことを整理するときに使えるシンキングツール。使い方を掲示することで、児童が自分なりに使えるようになることをめざしています。



視聴覚室が、「調べ、書く」ための
第2図書館になりました②

学校図書館活用授業では①情報収集 ②整理・分析 ③まとめ・表現・発信の3つの学習場面を大切にしています。それぞれの場面で、どのような方法があるかを具体的に示したものが「情報活用スキルカード」です。自らの学びを構成する自己調整力をつけていくことをめざしています。カードは児童が確認しやすいように、ロイロノートの資料箱の中に入れてあります。

高 学 年 用

情報活用スキルカード（高）

集める

本を読む

インターネット

友だちの話を

記事を読む

答書を撮る

見たこと、聞いたこと、感じたことから必要な情報を選ぶ。

絵・写真・文章・表・図・グラフなど必要な情報を選ぶ。

情報から思ったことを書き出す。（紙、テキスト）

整理する・考える

Yチャート
分ける

イメージマップ
情報を広げる

ベン図
2つの情報を広げる

クラスタチャート
要約する

PM
多面的に見る

情報をわかりやすく整理する。

整理した情報から、自分の考えを出す。

まとめる

絵にまとめる

シンキングツールにまとめる

ノートにまとめる

スライドにまとめる

伝える

伝えたいことがはっきりしている。

理由がわかりやすい

絵、写真、図、グラフで示す。

情報元が分かる

情報から分かったことや考えたことを伝える。

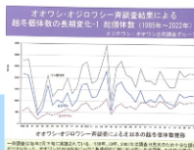
情報活用スキルの育成

5年生は、国語「固有種が教えてくれること」から学習を広げて、日本の固有種や希少種について調べました。調べたことを基にしてオオワシやアマミノクロウサギなどの未来について考え発表しました。それぞれの生き物について野生生物保護センターの方々からお話を伺えたことは良い経験になりました。



資料と銅路温泉で働いている中野さんから聞いたことを基にして、オオワシは人間のせいで減っていることを述べました。だからオオワシは減っていくと思うのです。私たちができることは自然環境を守って行くことが大切だと思います。

さらに、オオワシの天敵は、ひとで、人間の森林伐採、交通事故、感電事故、列車衝突でオオワシが減っていると思います。木が減っている理由は、燃料や材料としての違法な伐採が理由です。だからオオワシが減っているのです。



上の表では、総個体数を示したものです。1985年のは、オオワシの数は2500匹くらいです。2022年のオオワシの数は1500匹くらいです。二つを比べるとオオワシの数が減っていることがわかります。

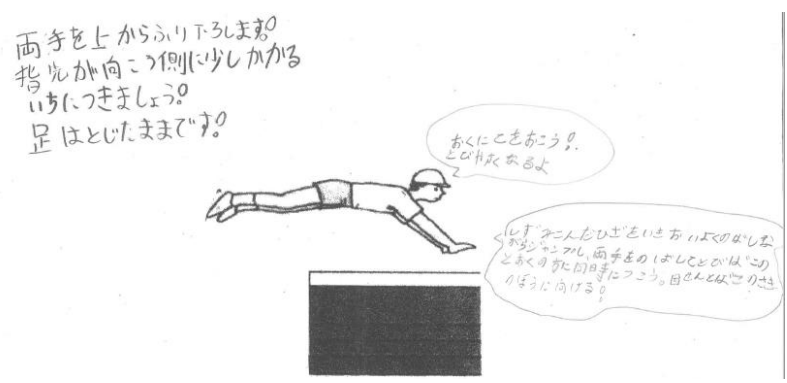
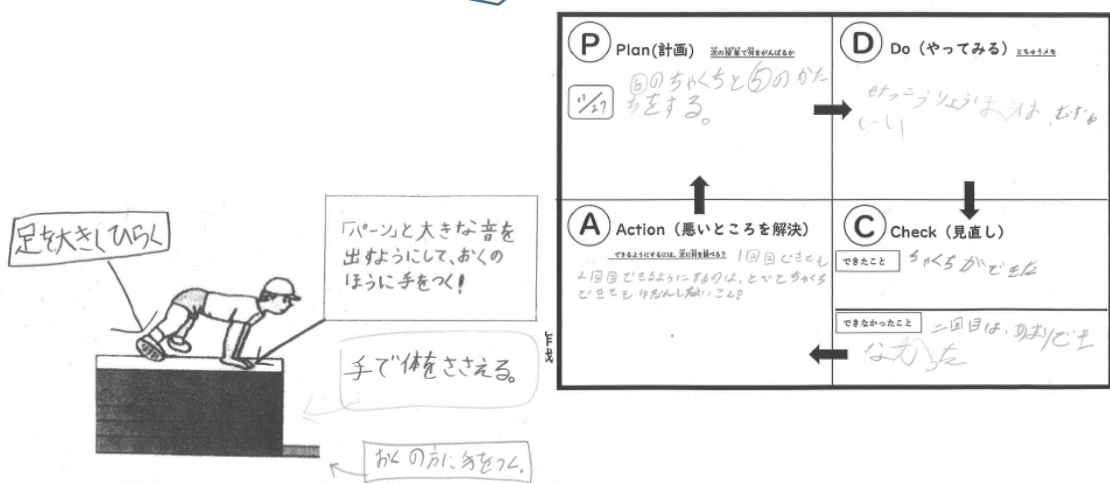
私は今後、オオワシは減っていくと思います。なぜなら、人間のせいで数が減っていつてからです。

オオワシの総個体数



学校図書館を活用した学習例①
5年生 国語「固有種が教えてくれること」

3年生は体育「とびばこ」で、どうすれば跳び箱をとべるのかを調べ、実践するPDCAに取り組みました。よく意見を伝えあい、互いに支え合いながらチャレンジしていく取り組みになりました。「わかる」と「できる」が重なってコツをつかんでいく姿がありました。



学校図書館を活用した学習例②
三年生 体育「とびばこ」

本は、日本十進分類表をもとに色分けして配架しています。分類番号や配置の決まりがまだ理解しづらい低学年のために、3類民話の棚にはカップ、4類動物の棚にはワニのぬいぐるみを置くなどの工夫をしています。また、同じ分類でも綱目が複数あるため、背表紙のシールに数字と共に絵シールを貼り、児童がもとの棚に戻しやすいようにしています。

配架された本を探しだす「本探しビンゴ」に取り組んだこともあります。ビンゴ表を使い、グループで協力しあうことで、ゲーム感覚で本の配架を確認する機会になりました。

さがせ！ 本ビンゴ

球技の本	お料理 レシピ本	イソップ童話	「おしり たんてい」
SDGsの本	伝記	詩集	タイトルに 「大阪」が入 っている本
天気の本	紙しばい	ねずみが 出てくる絵本	クイズ本
文章のどこか に「天才」と 書いてある本	ポブラディア	恐竜が でてくる本	100ページ以上 150ページ以下 の本

グループメンバー
()

学校図書館を使いこなそう！